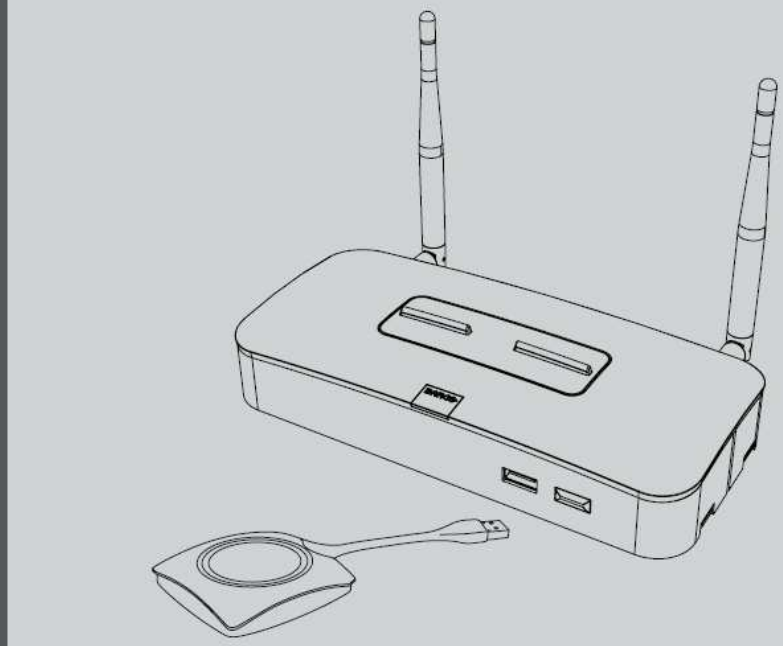
ClickShare



ClickShare mini(CSM-1)ユーザーマニュアル

R5900013/03
2014 年 4 月 30 日

BARCO
Visibly yours

Barco nv
President Kennedypark 35, 8500 Kortrijk, Belgium
Tel：+32 56.23.32.11
Fax：+32 56.26.22.62
サポートのご案内：www.barco.com/esupport
Barco ホームページ：www.barco.com

日本語版制作 株式会社内田洋行 http://www.uchida.co.jp

2014/8/11	日本語訳第 1 版

Printed in Belgium

Copyright ©

All rights reserved.本書のいかなる複写、複製、翻訳も禁じられています。無断で情報検索システムに記録、転送、保管することは禁じられています。

Barco ClickShare エンドユーザーライセンス契約（EULA/ソフトウェアライセンス）

本書にはソフトウェアのライセンス供与に関する規定が記載されていますので、本書をよくお読みになった上で弊社が提供するハードウェアやソフトウェアを開梱・ダウンロードしてご使用ください。ソフトウェアのパッケージを開梱した時点もしくはソフトウェアを搭載しているハードウェアを使用開始した時点で本契約内容に合意したものとみなされます。

弊社が提供するソフトウェアはお客様に販売するものではなく、本ライセンス契約に基づいてご使用いただくことを目的として非排他的にライセンス供与するものですので、明示的にお客様に付与されていないあらゆる権利は弊社に帰属します。ソフトウェアを保存するキャリア自体はお客様の所有物になりますが、ソフトウェアの所有権および著作権は弊社または第三者であるサプライヤに帰属します。お客様へのライセンス供与は、何らかの権利や所有権を与えるものではなく、ソフトウェアやソフトウェアに付属する書類に対するいかなる権利も譲渡するものではありません。

ソフトウェアの初版品または旧版のアップグレード品、アップデート品、パッチ品、改良品をインストール、実行、使用した時点で、本ソフトウェアライセンスの目的について弊社とお客様との間でそれまでに合意した（書面の有無を問わず）諸条件に優先するものとし、それまでの諸条件は、その時点で効力を失うものとします。ただし、本ソフトウェアライセンスは、過去に合意した契約上の義務を一方当事者が不履行した場合に過去に合意した契約に基づいて付与された権利や救済の破棄、免除、放棄とみなされないものとします。

ソフトウェアの仕様

ソフトウェアには次のソフトウェア製品が付属されています：ClickShare

ソフトウェアライセンス条件

1. 本ソフトウェアライセンスは、President Kennedypark 35, B-8500 Kortrijk, Belgium に登録事務所を置き、コルトライクの営利法人登記の第 BE 0473.191.041 号に登記され、ベルギー法のもと設立・存続する BARCO NV（以下「Barco」と称する）とお客様との間でソフトウェアの使用に関して締結します。
   本ソフトウェアライセンスの諸条件について、ソフトウェアをインストールしたコンピュータの使用を許可したユーザー（認定ユーザー）全員に連絡し、本ソフトウェアライセンスのすべての条件の対象となることを認定ユーザー全員に承諾させてください。
2. 弊社は、限定付き、非排他的、譲渡・委譲不可能なユーザーライセンス（サブライセンスを付与する権利はありません）をお客様に付与いたします。お客様と弊社との間で特に合意のない限り、またはソフトウェア（またはその DRM 管理）自体にて特に許可されない限りは､i)本ソフトウェアライセンスに基づくライセンスは 1 台のコンピュータ単体にて使用する本ソフトウェアの 1 コピーに適用され、ii）複数のユーザーに同時にアクセスされるコンピュータにインストールされた場合はその使用を許可せず、本ソフトウェアが使用されているコンピュータに接続しているアクティブな各ユーザーは別途ライセンスが必要となります。
   お客様と認定ユーザーは本ソフトウェアライセンス（および各種書類）に規定されている目的および方法でソフトウェアをご使用いただけますが、お客様や各認定ユーザーは、(i）弊社から事前に書面により明示的に許可を得ることなくソフトウェアを第三者に販売または担保権を付与したり、ソフトウェアを貸与、リース、サブライセンス供与してはならないものとし、もしくは（ii）ソフトウェアやそのコンポーネント部分を、お客様やソフトウェアの認定ユーザーによる使用以外の商業目的で利用することはできません。
   法律や本ソフトウェアライセンスで認められていない限り、お客様および認定ユーザーは、弊社から書面による許可を事前に得ることなく、ソフトウェアのすべてまたは一部を複写、翻訳、分解模倣、ソースコードの導出、改造、分解、デコンパイル、派生物の作成を行わないものとし、ソフトウェアに表示された商標マークや商標ラベルを取り外さないものとします。
3. ソフトウェアおよびお客様または認定ユーザーが複写したソフトウェアのコピーの知的財産権はすべて弊社（該当する場合は弊社のライセンサ）に帰属するものとします。ソフトウェアは、国内の著作権法、国際著作権条約・協定、その他準拠法により保護されています。本ソフトウェアライセンスに明示的にライセンス供与されていないあらゆる権利は、弊社および弊社のライセンサ（該当する場合）に帰属します。他の特定のライセンス供与物もソフトウェアに含まれており、弊社のライセンサは、本ソフトウェアライセンスの違反が発生した場合にその権利を保護することができます。

4. 弊社は、本ソフトウェアライセンスにより許諾されているソフトウェアをインストールする権利やライセンスに起因する第三者の特許、商標、著作権の侵害や侵害の疑惑から生じる直接的な損害、損失、発生費用をすべて補償し、お客様に何らの損害も与えないこととし、最終判断により裁定されるいずれの金額、またはそれに起因する調停金額は自らの責任において一切の費用を負担して解決するものとし、ただし（i）お客様に何らかの請求が発生した場合や請求、法的措置、訴訟、法的手続き（先に行われるもののいずれ）が開始された場合、速やかに書面にて弊社に通知するものとし、（ii）弊社は、請求、法的措置、訴訟、法的手続きに関連する防衛措置や交渉を自らの責任において管理支配するよう許可され、（iii）お客様は、書面により事前に弊社の許可を得ることなく、請求、法的措置、訴訟、法的手続きの交渉、解決、譲歩を行わないものとし、（iv）お客様は、請求、法的措置、訴訟、法的手続きに関連する防衛措置、解決、交渉に関して、弊社から都度要請があった場合、ご自身の費用負担で Barco にご協力・ご援助・ご支援いただくものとします。弊社は、次に該当するソフトウェアまたはその一部に対して一切補償義務を追いません。（i）お客様からご提供いただいた仕様、図面、モデルなどのデータに基づくもの、（ii）弊社が提供していないもの、（iii）ソフトウェアの改造が禁止されているにも関わらず、改造したもの、（iv）提供を受けた後に侵害の疑惑となる行為を続け、侵害の疑惑を回避する改造、（v）ソフトウェアを単独使用せず、他のソフトウェア、他のプロセス、他のものとソフトウェアを併用、組み合せ、組み合わせて使用、配布し、侵害の疑惑の根本原因となった場合。弊社による第三者の権利の侵害または不正流用が最終的な裁定で決定された場合、弊社の判断により任意で費用負担し、（i）第三者の権利を侵害または不正流用できないようにソフトウェアを改良する、（ii）侵害の疑いのある権利をお客様にご使用いただけるように、別のライセンスなどの権利を取得する、（iii）当該ソフトウェアを侵害していないソフトウェアに交換する場合があります。本項に記載されている救済措置は、お客様への唯一かつ排他的な救済措置であり、第三者がソフトウェアによる第三者の知的財産権の侵害または不正流用を申し立てた場合に弊社の唯一かつ排他的な法的責任とします。

5. 本ソフトウェアライセンスの有効期間は、ソフトウェアの受入日（上記日付）（お客様はソフトウェア使用時点で受け入れたものとみなされ、これを認めたことになります）に開始するものとし、他に特に規定がない限り、無期限に継続するものとします。お手元にあるソフトウェアのコピーをすべて破壊し、関連する物品や書類をすべて弊社または販売元もしくは提供元である弊社指定販売店に返品することで、本ソフトウェアライセンスを随時に終結させることができます。弊社は、お客様や認定ユーザーがソフトウェアライセンスの規定を違反した場合、随時にお客様に連絡することで直ちに本ソフトウェアライセンスを終結させることができます。

6. お客様は、ソフトウェアが「現状ある姿」のままで提供されていることを理解しているものとします。弊社は、明示的・黙示的を問わず、商品性、特定の目的への適合性、知的財産権の不侵害を保証または表明せず、黙示保証を明確に放棄しており、ソフトウェアにエラーが発生しないことを保証していません。当該エラーが発生しても弊社による是正措置を保証いたしません。当該エラーが発生した場合、修正、修理、損害に対する一切の責任および費用はお客様の負担とします。
お客様は下記についてもご了承・ご同意いただくものとします：
弊社は、お客様がソフトウェアをご使用になった結果、お客様自身または第三者に発生した損害、損失、請求について一切の法的責任を追いません。弊社の責任を除外できない法的地域では、直接的な損害に対する弊社の責任は 250 ユーロの合計金額に限定されます（または、さらなる除外が法的に許可されない場合は、法律で認められている最大限の範囲内）。
法律で認められている最大限の範囲内で、弊社はいかなる場合もソフトウェア、本ソフトウェアライセンス、本ソフトウェアライセンスに基づく弊社の義務の履行、意図的な履行・不履行に起因するまたは関連して間接的、特殊的、懲罰的、付随的、結果的に生じるあらゆる損失や損害、発生の可能性について報告を受けていたとしても、ソフトウェアの使用により生じる作業停止、コンピュータの故障、ソフトウェアの動作不良に起因する経済的な損失、事業、契約、データ、営業上の信用、利益、売上高、収益、評判などの損失、その他あらゆる商業上の損害や損失について一切法的責任を負いません。
また、お客様が本ソフトウェアライセンスの規定に違反した場合、当該違反に起因するまたは関連する法的措置や手続き、法的責任、損失、損害、発生費用（弁護士費用を含む）、その他弊社に発生する費用をすべて補償し、弊社および弊社の関連会社や子会社に一切損害を与えないものとします。

7. お客様が本ソフトウェアライセンスに基づいて入手し、極秘または同等のマークが表示されている、もしくは性質的に機密扱いにする必要のあるあらゆる情報は機密扱いとし、事前に弊社から書面による許可を得ない限り、第三者に当該情報を漏洩ないものとし、ただし、本第 7 項は、本ソフトウェアライセンスの締結に先立って行われた交渉を開始する前に既にお客様が正当に保有し、既に周知となっている情報、将来的に法律により開示することが求められて開示された情報（本第 7 項の違反によるもの以外）、些細または明らかな情報は対象としません。本第 7 項の規定について十分に理解し、必ず順守してください。当該機密保持義務は、本ソフトウェアライセンスが終結した後も存続するものとします。

8. お客様ご自身で責任をもってご自身のハードウェア、オペレーティングシステムのメンテナンス、ネットワーク機能の維持管理、システムへのウイルスの防止を行ってください。ソフトウェアは複合的なコンピュータ用ソフトウェアアプリケーションであり、その性能はハードウェアのプラットフォーム、ソフトウェア間の相互作用、構成によって異なりますのでご了承ください。お客様自身の判断でご選定いただいたソフトウェアであり、お客様の特定の要件や期待に応えるために厳密に設計・製作されておりませんので、ご了承ください。疑義を回避するためにここに記しますが、本ソフトウェアライセンスは、（ソフトウェアまたはいずれの他のハードウェアまたはソフトウェア製品における）サポートサービスを提供するといういずれの義務を弊社に課しません。

9. 本ソフトウェアライセンスは、お客様および／または認定ユーザーによるソフトウェアの使用について、お客様と弊社との間の唯一の理解・合意とします。本ソフトウェアライセンスの内容は、虚偽の陳述に対する法的責任を免責とすることを意図しておらず、本ソフトウェアライセンスの以前に取り交わされたその他すべての連絡、理解、合意（存続する機密保持契約を除く）に優先します。ソフトウェアの違法な輸出・再輸出、違法なコピー品や改造品の輸出・再輸出することは禁じられています。本ソフトウェアライセンスの改変、修正、変更を禁じます。本ソフトウェアライセンスの内容が違法、無効、強制不能であると判断された場合もしくは当該判断が司法管轄の裁判所の最終的な判断である場合、当該判断が下された日またはそれ以前の時点から当該内容が削除されたものとみなして、本ソフトウェアライセンスの全効力は存続するものとし、そして法律により承認され、本ソフトウェアライセンスの意図に最も近い形で具体化する規定に差し替えるものとします。
10. 本ソフトウェアは米国またはその他の政府の輸出管轄権に服しますのでご了承ください。お客様は、米国輸出管理規則、米国やその他の政府が発布した最終消費者、最終消費、仕向地の規制など、ソフトウェアに適用されるすべての国際法、国内法を順守することに合意するものとします。
11. 弊社は、弊社の関連会社および／または第三者に、弊社の義務のすべてまたは一部を委託する場合があります。
12. 本ソフトウェアライセンスの構成、有効性、履行は、抵触法の原則を適用せず、あらゆる点においてベルギー法に服するものとします。本ソフトウェアライセンスに起因するまたは影響するすべての争議は、他の管轄下における判決や命令の執行を害することなく、コルトライクの裁判所の専属管轄権に服するものとします。国際物品売買契約に関する国際連合条約（「条約」）は本ソフトウェアに適用しないものとし、ただし、管轄の裁判所の判断により条約が本ソフトウェアライセンスに適用されるとみなされる場合、弊社は、条約の第 35 条（2）に基づくソフトウェアの不適合に対する申し立てに関して一切の法的責任を負わないものとします。

ソフトウェアライセンスの商標に関する条件

本ソフトウェアに関して記載されているブランド名や製品名は、各所有者（第三者）の商標、登録商標、著作権とします。本ソフトウェアに関して記載されているすべてのそのようなブランド名および製品名はコメントや例示を目的としており、製品やそのメーカの宣伝・広告とみなしません。

プライバシーポリシー

お客様におかれましては、本ソフトウェアは、これを通して接続される製品の機能に関する技術情報（「機能情報」）を収集し、サービスをお客様およびお客様が帰属する組織に提供することを含むがこれに限定しない、弊社が適していると認識するいずれの理由のために、第三者がそのような機能情報にアクセスし、および/またはサービスをお客様およびお客様が帰属する組織に提供できるよう、そのような機能情報を（いずれの個人データを除いて）弊社が使用できるようにすることを理解し、合意していただきますようお願いします。

お客様はこれにて、お客様からご提供いただいた個人データ（例：機能情報の収集を許可する、接続されたお客様のアカウント、同様にそのアカウントに関するいずれの内容）、同様に本ソフトウェアの使用を通して弊社がお客様から受け取った個人情報を、弊社が以下の目的で収集、アクセス、保存、および/または開示できることに対して明確に同意を示していただくこととします。

- 弊社および/またはその関連会社の事業目的の便益に対して
- 本ソフトウェアを提供し、保守し、保護し、および/または改良し、そして新たなソフトウェアを開発する目的として
- お客様、そしてお客様が帰属する組織と、弊社および/またはその関連会社との関係の管理に対して
- いずれの他の合法な目的に対して（次を含む：i）弊社、その関連会社、または選別された第三者からの直接的マーケティングの目的、ii）本ソフトウェアに関して第三者からお客様にサービスを提供することの許可）
- 法律、またはそのようなアクセス制限または開示が合理的に必要であるという誠実な信念により、そのようにすることが必要な以下の場合
    - いずれの適用可能な法律、規則、法的手続き、または行使可能な行政からの要請を満たすため
    - これに関して潜在的な違反の調査を含む、本ソフトウェアライセンスに対する法的執行のため
    - 詐欺、安全上の問題、または技術的問題の検知、防止、または対処のため（スパムのフィルタリングを含むがこれに限定しない）
    - 法律により要請または許可された、弊社、そのユーザー、または公共の権利、資産、または安全に対する差し迫った被害に対する保護のため

弊社は、医療情報を含むがこれに限定しない、いかなるいずれの「機密情報」を処理しません。

お客様のコンテンツを含み、本ソフトウェアの、およびこれによる技術的処理および伝送は、以下に関連することをご理解願います。

- さまざまなネットワークでの伝送
- ネットワーク接続、デバイス、および/またはサービスの技術的要件への準拠および適合に対する変更

お客様はこれにて、弊社がお客様の個人データをいずれの世界中の国々、特に弊社および/またはその関連会社が、個人データを処理するインフラストラクチャを持ついずれの国、または第三者が、弊社および/またはその関連会社が個人データを処理するインフラストラクチャを利用できるようにした国へ輸出できることに対して明確に同意を示していただくこととします。

弊社は、個人データの処理、およびそのようなデータの自由な移動に関して、各 EU 参加国現地にて規定されるとおりに、個人の保護における EU 指令 95/46/EC を完全に遵守します。これらの規則にしたがい、お客様は自身の個人データへのアクセスおよび修正する権利を有します。これらの権利の行使をご希望される場合は、弊社までお問い合わせください。

オープン・ソース・ソフトウェアに関する規定：

本製品は、オープン・ソース・ライセンスに基づいてリリースされたソフトウェアのコンポーネントを含みます。ソースコードのコピーをご希望のお客様については、お近くの弊社カスタマーサポート代理店までお問い合わせください。

それぞれのオープン・ソース・ソフトウェアのコンポーネントおよび関連文書は、「現状ある姿」のまま提供され、明示的・黙示的を問わず、一切保証されないものとし、これには商品性や特定の目的に対する適合性に関する黙示的な保証などを含み、この限りではありません。いかなる場合も、著作権所有者やその他貢献者は、直接的、付随的、特別な、典型的な、または結果的な損害といった可能性について報告を受けていたとしても、その原因、および法的責任の根拠が何であれ、契約、厳格責任、または本オープン・ソース・ソフトウェアの使用目的以外に起因する不法行為（不注意その他を含む）のあるなしを問わず、当該損害に対して、一切の法的責任を負わないものとします。詳細については別途の各オープン・ソース・ライセンスに記載されています。

各オープン・ソース・ソフトウェアのコンポーネントに対する著作権は、各書類、ソースコード、README ファイルなどに掲載されている当初の各著作権所有者、追加貢献者および／またはその譲受人に帰属します。お客様による各著作権の解除、隠蔽、改竄は禁じられています。

別途の各オープン・ソース・ソフトウェア・ライセンスの諸条件をお守りください。

ソフトウェアの開発には、下記のオープン・ソース・ソフトウェアのコンポーネントを使用しています（最新リストは、弊社ウェブサイトの（カスタマーセクション）または他の（オンラインでの）手段によりご利用いただけます）。

オープン・ソース・コンポーネント	オープン・ソース・ライセンス
alsa-lib	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
alsa-utils	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
alsa-plugins	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
busybox	http://opensource.org/licenses/GPL-2.0
dropbear	http://opensource.org/licenses/mit-license.php
fakeroot	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
linux	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
gmp	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
iproute2	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
kobs-ng	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
rsync（＜3.0.0）	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
rsync（≧3.0.0）	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
uClibc	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
wireless_tools	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
wpa_supplicant	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
imx-bootlets	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
Crypto++	http://www.cryptopp.com/License.txt
libresample	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
libjpeg-turbo	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
acpid	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
avahi	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
coreutils	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
crda	http://opensource.org/licenses/ISC
cron	http://opensource.org/licenses/ISC
dbus	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
dhcpd	http://opensource.org/licenses/ISC
dmidecode	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html

オープン・ソース・コンポーネント	オープン・ソース・ライセンス
e2fsprogs	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
eglibc	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
ethtool	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
gdbserver	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
grub	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
gstreamer	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
hdparm	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
hostapd	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
i2c-tools	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
iftop	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
iperf	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
iptables	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
iw	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
acl	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
attr	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
libarchive	http://opensource.org/licenses/bsd-license.php
libav	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
libcap2	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
libdaemon0	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
libdrm2	http://opensource.org/licenses/MIT
libexpat1	http://opensource.org/licenses/MIT
libfontconfig1	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
libfontenc1	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
freetype	http://freetype.sourceforge.net/FTL.TXT http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
libgcc1	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
libgcrypt11	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html http://www.gnu.org/copyleft/fdl.html
libglib-2	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
libgnutls26	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
libgpg-error0	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html http://www.gnu.org/copyleft/fdl.html
libjpeg8	BSD like licensee
libnl2	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
libnss-mdns	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
libpam	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
libpcap	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
libpcre0	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause

オープン・ソース・コンポーネント	オープン・ソース・ライセンス
libpixman-1-0	http://changelogs.ubuntu.com/changelogs/pool/main/p/pixman/pixman_0.10.0-0ubuntu1/libpixman-1-0.copyright
libpng12-0	http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt
libpopt0	http://opensource.org/licenses/MIT
libsm6	
libstdc++6	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
libtalloc2	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
libusb	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
libxml2	http://opensource.org/licenses/MIT
libz1	Free license
lighttpd	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
lmsensors	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
logrotate	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
makedevs	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
memtest86plus	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
mesa	http://opensource.org/licenses/MIT
module-init-tools	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
modutils	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
monit	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
ncurses	http://opensource.org/licenses/MIT
netbase	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
openssh-sftp-server	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
openssl	http://www.openssl.org/source/license.html
opkg	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
pciutils	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
perl	http://perldoc.perl.org/perlartistic.html http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-1.0.html
php	http://www.php.net/license/3_01.txt
procps	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
qt	http://qt-project.org/doc/qt-5.0/qtdoc/gpl.html
read-edid	Free license
rgb	
rockbox-imxtools	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
rsyslog	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
splashutils	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
strace	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
sysfsutils	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
sysvinit	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
tcpdump	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
ttf-arphic-uming	
ttf-dejavu-common	

オープン・ソース・コンポーネント	オープン・ソース・ライセンス
ttf-dejavu-sans-mono	
ttf-dejavu-sans	
ttf-sazanami-gothic	
ttf-sazanami-mincho	
ttf-un-fonts	
udev	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
update-modules	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
update-rc	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
usbutils	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
util-linux-ng	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html x
server-xorg	http://opensource.org/licenses/MIT
zeroconf	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
node.js	https://raw.github.com/joyent/node/v0.10.26/LICENSE
express	http://opensource.org/licenses/MIT
passport	http://opensource.org/licenses/MIT
passport-http	http://opensource.org/licenses/MIT

商標権

本書に記載されているブランド名や製品名は、各所有者の商標、登録商標、著作権とします。本書に記載されているすべてのブランド名および製品名はコメントや例示を目的としており、製品やそのメーカの宣伝・広告とみなしません。

保証、損害賠償

弊社は、法律で定められた保証条件の一環として製造完全性に関して保証します。買い手はすべての納入品を受入時に点検して輸送中の損傷がないか、材料や製造に不具合がないか確認し、苦情の申立てについては書面にて直ちに弊社にご連絡ください。

保証期間はリスク移転日から開始し､特殊なシステムやソフトウェアの場合は危険の移転から 30 日以内の試運転実施日から開始します。弊社は、正当なクレームを受理した場合、不具合を修正し、もしくは適切な期間内に交換品を任意で提供する場合があります。この対策が不可能な場合や効果がない場合、買い手は購入価格の減額または契約の取り消しを要求することができます。特に直接的または間接的な損害およびソフトウェアの動作、弊社が提供するシステムのコンポーネントまたは別途サービスなどのその他のサービスに起因する損害に対する賠償は、損害が書面により保証された特性の欠落、弊社の故意または重大な過失もしくは一部に起因すると証明できない場合は無効とみなされます。

買い手または第三者が弊社からの納入品を改造または修理した場合、もしくは納入品を適切に取り扱わなかった場合、特にシステムを委託し適切に操作しなかった場合、リスクの移転後に納入品が契約にて合意されていない要因の影響を受ける場合、買い手の請求は無効とみなされます。インタフェースなど、買い手により提供されたプログラムや特殊電子回路に起因するシステムの不具合については保証範囲に含まれません。通常のご使用による磨耗や通常のメンテナンスについても弊社の保証対象外となります。

本書に記載されている環境条件や保守・点検に関する規則をお守りください。

EN55022/CISPR22、クラス A、ITE（IT 機器）

クラス A の ITE のカテゴリは、クラス B の ITE に規制は満たさないものの、クラス A の ITE の規制を満たす各種 ITE のカテゴリです。当該機器は販売規制の対象ではありませんが、以下の警告事項を使用上の注意事項に含めなければなりません。

警告：クラス A の製品です。ご家庭でご使用になる場合、本製品から電波障害が発生する可能性がありますので、十分な対策を講じてください。

米国通信委員会の電波障害に関する声明

適合性の責任当事者により明示的に承認されていない変更や改造を行った場合、機器を操作する権限が取り消される可能性がありますのでご注意ください。

本機器は FCC 規則パート 15 に規定されているクラス A のデジタル機器の制限値を満たすことを試験で確認済みです。当該限度値は、商用環境条件下で機器を動作させるときに発生する有害な電波障害に対して十分に保護することを目的としています。本機器は無線周波エネルギーを発生、使用、放射しますので、取扱説明書に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な電波障害が発生する可能性があります。本機器を動作させると有害な電波障害が発生する可能性が高いため、住宅地でご使用になる場合、ご自身の費用負担で電波障害を改善する必要があります。

電波障害が無線通信サービスに発生し、本機器の電源のオン／オフを切り替えることで当該電波障害を確認できる場合、下記の方法で電波障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは位置を直す。
- 機器と受信機との間の距離を十分に確保する。
- 受信機を接続しているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店または実績のある無線／テレビ専門技術者に依頼する。

本機器は、FCC 規定のパート 15 に準拠しています。動作は下記の両条件の対象となります：

1. 本機器から電波障害は発生しない。
2. 本機器は機器の誤作動の原因となり得る電波障害など、いかなる電波障害も受け入れなければならない。

FCC の RF 出力に関する声明:本機器は 802.11a モードで動作可能です。5.15～5.25GHz の周波数範囲で動作する 802.11a 機器の場合、米国内の移動体衛星サービス（MSS）に有害な電波障害を抑制するため屋内での使用に限定されています。機器が 802.11a モード（5.15～5.25GHz 帯）で動作する WiFi アクセスポイントは、屋内専用として最適化されています。WiFi ネットワークが当該モードで動作する場合、移動体衛星サービスを保護するため、WiFi の屋内使用を規制して連邦規則に違反しないでください。

ベースユニット FFC ID：RYK-WUBR507N

ボタン FCC ID：XF6-RS9110N1103

カナダの場合、カナダ産業省（IC）の通知

本機器はカナダ産業省のライセンス免除 RSS 規格に準拠しています。動作は下記の両条件の対象となります：（1）本機器から電波障害は発生しない。（2）本機器は機器の誤作動の原因となり得る電波障害など、いかなる電波障害も受け入れなければならない。動作は下記の両条件の対象となります：（1）本機器から電波障害は発生しない。（2）本機器は機器の誤作動の原因となり得る電波障害など、いかなる電波障害も受け入れなければならない。

無線周波数（FR）出力情報

弊社製ワイヤレス機器から発生する出力は、カナダ産業省（IC）が定める無線周波数出力限度範囲内です。弊社製ワイヤレス機器は、通常の動作時にできる限り人が接触しないようにご使用ください。

ベースユニット IC ID：IC：6158A-WUBR507N

ボタン IC ID：8407A-RS9110N1103

IC アンテナに関する声明

本無線送信機は、カナダ産業省の規制に基づき、カナダ産業省の認可を取得した方式および最大（以下）のゲイン値のアンテナを使用してのみ動作します。他のユーザーへの電波障害の影響を抑制するため、問題なく通信する上で必要な等価等方放射電力（e.i.r.p.）を超えないようにアンテナの方式やゲイン値を選定する必要があります。

本無線送信機 6158A-WUBR507N は、記載されている各アンテナ方式のゲイン公差上限値およびアンテナインピーダンス要件と下記のアンテナ方式で動作し、カナダ産業省の認可を取得しています。アンテナ方式に対応する最大ゲイン値を超え、このリストに掲げられていないアンテナ方式の場合、本機器でのご使用は固く禁じられています。

方式：ダイポール

最大ピークゲイン：2dBi

インピーダンス：50Ω

Canada, avis d’Industry Canada (IC)

Le présent appareil est conforme aux CNR d’Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.L’exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :(1) l’appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l’utilisateur de l’appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d’en compromettre le fonctionnement.

Informations concernant l’exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par l’appareil de sans fil Barco est inférieure à la limite d’exposition aux fréquences radio d’Industry Canada (IC).Utilisez l’appareil de sans fil Barco de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

IC ID Unité de Base: 6158A-WUBR507N

IC ID Button : 8407A-RS9110N1103

Déclaration d’antenne d’Industrie Canada (IC)

Conformément à la réglementation d’Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d’un type et d’un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l’émetteur par Industrie Canada.Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l’intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d’antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l’intensité nécessaire à l’établissement d’une communication satisfaisante.

Le présent émetteur radio 6158A-WUBR507N a été approuvé par Industrie Canada pour fonctionner avec les types d’antenne énumérés ci-dessous et ayant un gain admissible maximal et l’impédance requise pour chaque type d’antenne.Les types d’antenne non inclus dans cette liste, ou dont le gain est supérieur au gain maximal indiqué, sont strictement interdits pour l’exploitation de l’émetteur.

Type: Dipole

Gain maximum: 2 dBi

Impédance: 50 Ohm

目次

1. はじめに 3
1.1 バージョン 3
1.2 ClickShare および Barco 製企業向け AV プロジェクタ 3
1.3 本書について 3
1.4 記号、フォント 4
2. ClickShare のご紹介 5
2.1 ClickShare 製品について 5
2.2 ベースユニットについて 6
2.3 ボタンについて 7
2.4 モバイルデバイスサポート 8
3. はじめの手順 9
3.1 ベースユニットを起動する 9
3.2 使い方　基本編 9
3.3 ユーザーインタフェース 11
3.4 キャプチャモア（詳細取り込み） 12
3.5 デスクトップの共有：プライマリ、拡張 13
3.6 オーディオの構成 14
3.7 ペアリング 16
4. 困ったときは 19
4.1 基本的な対処法 19
5. 環境情報 21
5.1 廃棄処分情報 21
5.2 RoHS への準拠 21
5.3 生産地 22

1. はじめに

概要

- バージョン
- ClickShare および Barco 製企業向け AV プロジェクタ
- 本書について
- 記号、フォント

1.1 バージョン

地域別仕様

ClickShare 製品を購入した地域によって、ベースユニットと付属品の仕様が異なります。本書発行時点で ClickShare の仕様は 3 つの地域に対応しています。また、1 つのワールドワイドバージョンもご利用いただけます。

- 欧州および日本
- 北米
- 中国
- ワールドワイド

購入後に ClickShare の地域別仕様を変更することはできません。そのため他の地域ではご使用いただけません。

地域毎の仕様の差異については、ClickShare 設置ガイド（R5900014）をご参照ください。

1.2 ClickShare および Barco 製企業向け AV プロジェクタ

特長

ClickShare を、Barco 製企業向け AV プロジェクタすなわち Present-P、Present-C、または Present-M 等、ならびにこの種のプロジェクタ専用の延長ケーブルキットと組み合わせて使用することで、以下の特長をご利用いただけます。

- 自動電源オン：ボタンを接続すると、プロジェクタは自動でスタンバイモードから操作モードに切り替わります。遠隔での操作は不要です。
- 自動ソース選択：他のソースを選択中に、接続されているボタンを押すと、プロジェクタは自動で ClickShare に切り替わります。ClickShare のソースが取り外されても、プロジェクタは他のソースへは切り替わりません。
- 自動電源オフ：すべてのボタンを取り外すとプロジェクタは 15 分後にスタンバイ状態になります。

1.3 本書について

本書

品番	内容	レベル
R5900013	ユーザーガイド	ユーザー

システム関連書類の有無

本書は ClickShare 製品について記述されている書類一式に含まれています。

ガイド	品番
ユーザーガイド	R5900013
設置ガイド	R5900014
安全ガイド	R5900015
サービスガイド	R5900016
ボタンガイド	R5900007

ガイド	品番
リサイクルマニュアル	R5900009
API ガイド	R5900018

安全ガイド（印刷版）およびユーザー・設置ガイド（USB スティックに保存された電子版）は、ご購入時の ClickShare の外装箱内に同梱されています。

最新版のマニュアルを必ずご確認ください。www.barco.com/clickshare をクリックして[ClickShare product pages]に進み、[Downloads] タブから入手してご利用いただけます。

ClickShare のバージョンによって、一部の写真や画像が本書に記載されているものと異なる場合があります。機能性に何ら影響を与えるものではありません。

ユーザーガイドで ClickShare の使用方法を説明します。困ったときの解決策として基本的な対処方法についても説明します。

1.4 記号、フォント

記号の概要

本書では下記のアイコンが使用されています。

	注意
	警告
	情報、用語説明。用語に関する一般的な情報
	注：記載内容に対する補足情報
	ヒント：記載内容に関する役立つアドバイス

フォントの概要

- ボタン名は太字で記載されています。例：**OK**
- メニュー名は*斜体*で記載されています。
- 注記、ヒント、警告、注意に関する手順は*斜体*で記載されています。
- 手順に関連する注記、ヒント、警告、注意は、各アイコンの隣に**太字**で記載され、上下に 2 本の線で囲われています。

2. ClickShare のご紹介

概要

- ClickShare 製品について
- ベースユニットについて
- ボタンについて
- モバイルデバイスサポート

2.1 ClickShare 製品について

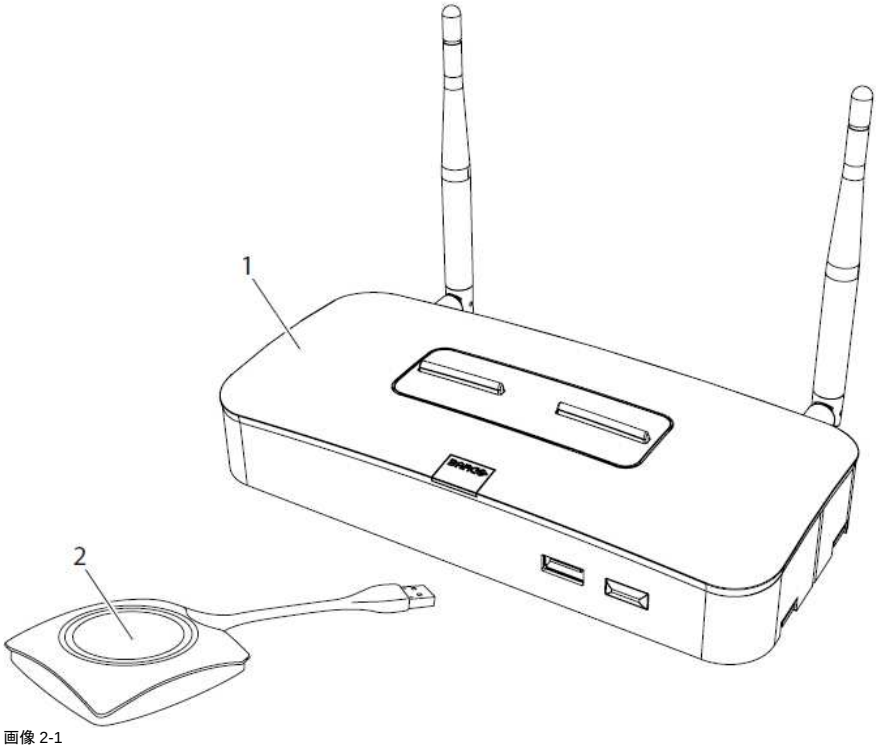
ClickShare セット

ClickShare はボタンをクリックするだけで会議室のビデオシステムに接続することができます。このワンクリック機能は、プレゼンテーションの内容をすぐに画面に投影するだけでなく、他の会議出席者により積極的に参加できる環境を提供することができます。会議の効率がアップし、より正確な判断ができます。

現在は 4 種類のセットを取り揃えています。地域毎に販売しているセットの内容が異なり、その地域でしかご利用いただけません。

ClickShare セットの構成

標準の ClickShare セットは、ベースユニット、2 台のボタンで構成されています。製品をご購入いただいた地域によって、ベースユニット用ソフトウェアの仕様が異なります。ご希望により追加でボタンをご購入いただけます。



画像 2-1
ClickShare の主な構成

1	ベースユニット
2	ボタン

同梱されている付属品

製品を購入した国によって、下記の地域別付属品が ClickShare の外装箱に同梱されています。

地域別仕様	内容	同梱されている付属品
R9861008xx[1]	• R9861008 • 2x R9861006D01	• DC アダプタ（A、C、G、I タイプの AC クリップ付き） • USB スティック（ユーザー向け説明書付き） • 安全マニュアル（印刷版） • 壁面取り付け用ブラケット • アンテナ（2 本）

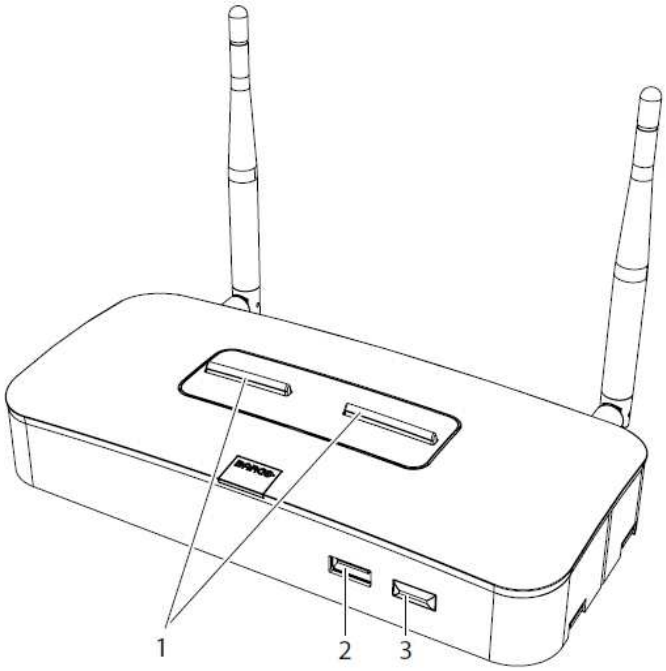
各国で使用する正確な地域別仕様については、最寄の営業所にお問い合わせください。

2.2 ベースユニットについて

ベースユニットの機能

ベースユニットは、各ボタンからワイヤレスで受信し、会議室のディスプレイのコンテンツや会議室のオーディオシステムのサウンドを調整することができます。

ベースユニットを会議室のキャビネットに収納したり、会議室のテーブルに置いたり、壁面に取り付けることもできます。ベースユニットの設置方法については、設置ガイドをご確認ください。



画像 2-2

1	ステータス LED ストリップ
2	USB ポート
3	電源ボタン

表 2-3

USB ポート

USB ポートは、ベースユニットとボタンのソフトウェアをアップデートする際に使用します。

ボタンをベースに差し込むだけで、ボタンをベースユニットにペアリングすることができます。ベースユニットは、ボタンのソフトウェアおよびファームウェアが最新のものか確認します。最新でない場合、ベースユニットがソフトウェアやファームウェアのアップデートを実行します。

ステータス LED ストリップ

ベースユニットの正面にある LED の色により、システムの状態が分かります。

[1] xx=EU, CN, NA, WW

LED の動作	説明
赤色で点灯	• ボタンからコンテンツを受信し、ディスプレイにストリーミング中。 • ボタンのペアリングまたはソフトウェアのアップデートが完了。ベースユニットからボタンを取り外せる状態。 • ベースユニットの起動時の第一段階。
白色で点滅	• システム起動中（第二段階） • ボタンのペアリング中 • ベースユニットのソフトウェアのアップデート
白色で点灯	• 復帰し使用可能な状態（ディスプレイにウェルカムメッセージが表示されます） • ペアリングの完了
赤色で点滅	• エラー発生

電源ボタン

ベースユニットの正面のボタンは、ベースユニットの電源が入っている場合には電源のオン／オフスイッチとして機能します。

- システムの電源がオンの状態のときに 1 回押すとシステムがシャットダウンし、電源がオフになります。
- システムのシャットダウン中に 1 回押すとシステムが起動します。

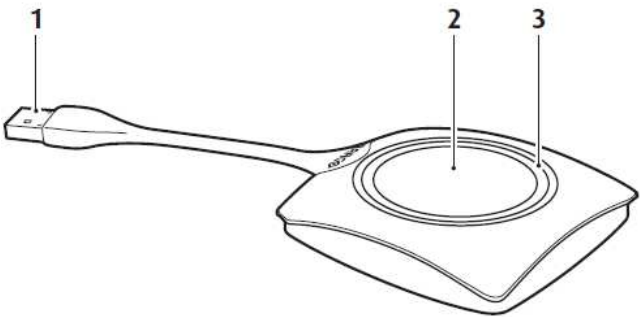
自動再起動

ベースユニットは 24 時間常に、スタンバイ状態が 2 分間を超えているかをチェックします。その場合、ベースユニットは再起動します。再起動時に使用している場合は会議が終わるまで再起動を中断し、ベースユニットは 2 分間を超えてスタンバイ状態が継続します。

2.3 ボタンについて

ボタンの機能

ClickShare セットには標準で 2 台のボタンが付属されています。主に 3 つの機能部が各ボタンに配置されています。



画像 2-3
ボタン

1	USB コネクタ
2	ボタン
3	LED リング

表 2-5

ボタンのケーブルは丁寧にお取り扱いください。乱暴に取り扱うと故障の原因になります。

USB コネクタ

USB コネクタを使用してボタンをノートパソコン（画面の共有化）やベースユニット（ボタンをユニットにペアリングしてソフトウェアのアップデートを実行）に差し込むことができます。

ボタン

ボタンをクリックすると、ノートパソコンの画面のコンテンツを会議室のディスプレイに映し出すことができます。会議中にボタンをクリックすることで画面を共有することができます。

LED リング

LED リングにより現在の ClickShare の状態を確認することができます。

LED の動作	説明
白色で点滅	• ノートパソコンにボタンが差し込まれていて初期化中、もしくは ClickShare のアプリケーションが起動できる状態。 • ベースユニットとボタンのペアリング中またはソフトウェアのアップデートの実行中。
白色で点灯	• ClickShare の画面共有化の準備が完了。 • ペアリングが完了。ベースユニットからボタンを取り外せる状態。
赤色で点灯	• 画面をディスプレイと共有中。 • ペアリングまたはソフトウェアのアップデートが完了。ベースユニットからボタンを取り外せる状態。
赤色で点滅	• エラー発生
オフ（消灯）	• ボタンは USB ポートに挿し込まれていないか、正しく挿し込まれていない状態。 • ボタンの故障が考えられる。 • USB ポートまたはパソコンの故障が考えられる。

2.4 モバイルデバイスサポート

概要

以下の表に ClickShare がサポートするアプリケーションを示します。これらは Google Play または Apple の App Store からお使いのモバイルデバイスにインストールできます。

モバイルデバイスで ClickShare を使用する前に、ClickShare ベースユニット Wi-Fi でモバイルデバイスを Wi-Fi 接続する必要があります。お使いのモバイルデバイスのユーザーガイドに従ってください。

アプリケーション	使用機種	ロゴ
ClickShare Presenter	iOS Android	
Galaxy 用 MirrorOp Sender	Samsung 製 Galaxy のみ	

3. はじめの手順

概要

- ベースユニットを起動する
- 使い方　基本編
- ユーザーインタフェース
- キャプチャモア（詳細取り込み）
- デスクトップの共有：プライマリ、拡張
- オーディオの構成
- ペアリング

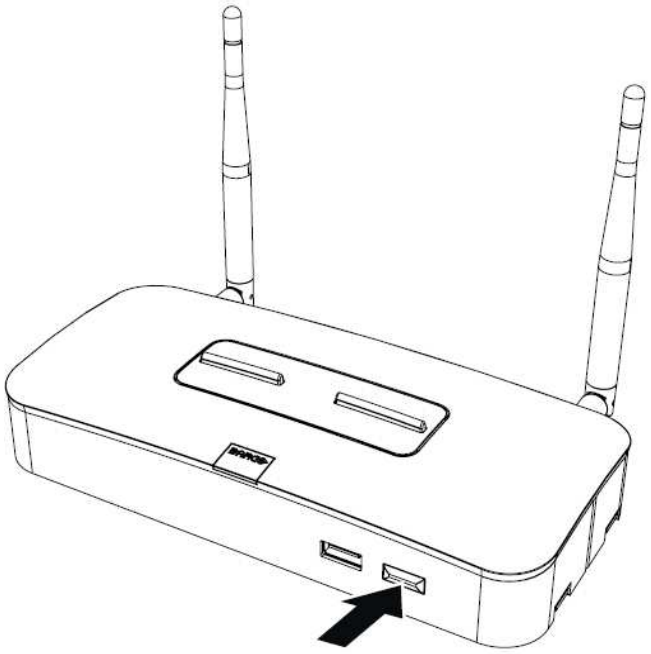
3.1 ベースユニットを起動する

電源モードについて

ベースユニットは、外部電源アダプタから電源を供給されます。接続すると、ベースユニットは自動的にスタンバイモードに切り替わります。電源の接続に関する詳細情報については、ClickShare の設置マニュアルをご参照ください。

オンおよびオフ

1. ボタンを早押しします。



画像 3-1
スタンバイボタン

ベースユニットがオンの場合は突き出た状態となります。

ベースユニットがオフの場合は起動します。

3.2 使い方　基本編

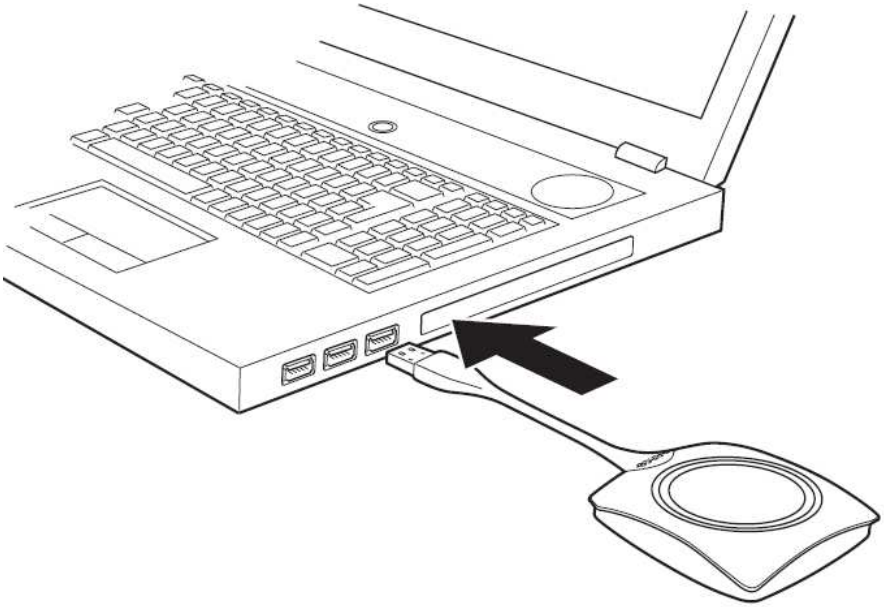
基本的な機能

ディスプレイがスクリーンセーバーモード以外の場合、ClickShare が設置されている会議室に入室したときに ClickShare の壁紙がディスプレイに表示されます。壁紙のコンテンツはセットアップの状態によって異なります。

簡単に ClickShare を始めることができます。

ClickShare を始める

1. ボタンを持ち、ノートパソコンの USB ポートにボタンを挿し込みます。



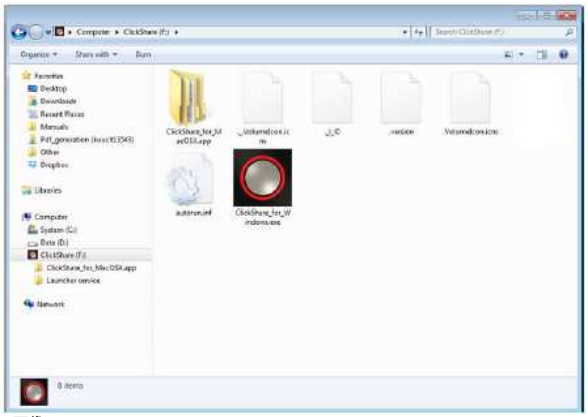
画像 3-2

ボタンの LED が白色で点滅し始めます。

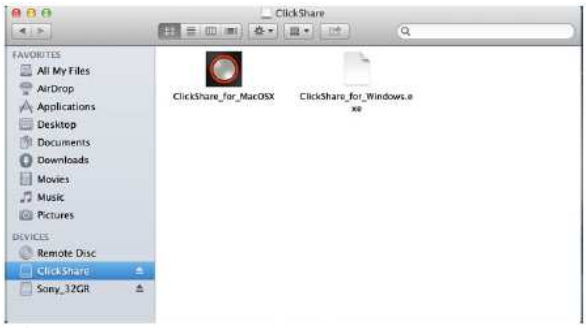
ノートパソコンに新しいドライバが表示されます。
下記の 2 つの状況が考えられます：

- ノートパソコンにランチャがプリインストールされている（ベースユニットまたは Barco ウェブサイトからダウンロード、もしくは各自の IT 部門により社内展開されている）。ClickShare をすぐにご使用いただけます。ステップ 4 に進みます。
- 何もプリインストールされていない。ステップ 2 に進みます。

2. ノートパソコンをブラウズし、ClickShare ドライバをダブルクリックします。



画像 3-3
Windows をお使いの場合



画像 3-4
Mac をお使いの場合

3. ClickShare アプリケーションをダブルクリックします。

ClickShare クライアントソフトウェアが起動し、そのアイコンがシステムトレイに表示されます。

Windows をお使いの場合：

Macintosh をお使いの場合：

システムがの準備が完了すると、システムトレイのアイコンの周囲にメッセージが表示されます。

画像 3-5

ボタンの LED が白色で点灯します。

4. ディスプレイの画面を共有するには、ボタンをクリックします。

   ボタンの LED が赤色で点灯し、画面の内容がディスプレイに表示されます。ClickShare ベースユニット側のオーディオが有効の場合、ノートパソコンのオーディオもベースユニットのオーディオ出力および HDMI 出力でご使用いただけます。音声は会議室のオーディオシステムを介して再生されます。アイコンはステップ 3 の状態に戻ります。

   システムトレイの ClickShare アイコンがスピンし始めます。ウィンドウズをお使いの場合、アイコンの状態は になります。

   コンテンツを共有しているノートパソコンにログインしたユーザー名が追加コンテンツの左下角部にしらばく表示されます。

   画面のコンテンツは、会議室のディスプレイの解像度に合わせて自動的に調整されます。画面のアスペクト比は、必ず適正な比率になるように維持されます。

5. コンテンツをディスプレイから消すには、ボタンを再度押します。

   ボタンの LED が白色で点灯します。

6. 会議室を退出する場合は、ボタンをノートパソコンから取り外してください。

   ClickShare アプリケーションの痕跡はノートパソコンには残りません。

3.3 ユーザーインタフェース

ユーザーインタフェースの機能

クライアントを立ち上げると、ClickShare アイコンがシステムトレイに表示されます。

ClickShare のコンテキストメニュー

コンテキストメニューのコンテンツはオペレーティングシステムに関連する内容です。

1. システムトレイの ClickShare アイコンを右クリックします。

   コンテキストメニューが表示されます。

画像 3-6
コンテキストメニュー

2. 実行する項目をリストから選択しクリックします。

クリックする項目	用途	結果
Start sharing（共有を開始）	ディスプレイに画面を表示する場合	ボタンの LED が赤色になります。
Show me fullscreen（フルスクリーンで表示）	画面のコンテンツをディスプレイにフルスクリーンで表示する場合	ディスプレイに表示中の他の画面が終了されます。
キャプチャモード	ビデオを詳細（処理能力は低下）に取得するか、粗く（処理能力は向上）取得するかを選択する場合	ビデオのパフォーマンスと品質を調整します。
Shared Desktop（デスクトップの共有）（Windows7、Windows8 のみ対応）	プライマリディスプレイか拡張ディスプレイか選択する場合	選択によって、プライマリディスプレイか拡張ディスプレイが表示されます。
ClickShare クライアントについて	ClickShareのソフトウェアのバージョンを確認する場合	ClickShare のソフトウェアのバージョン情報を確認することができます。
Exit（終了）	ClickShare を終了する場合	ClickShare アイコンがシステムトレイから消え、ボタンの LED が白色で点滅します。

3.4 キャプチャモア（詳細取り込み）

Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 のみ対応。

キャプチャモア（詳細取り込み）について

ClickShare は、ビデオのパフォーマンスを最適にします。クライアントソフトウェアを起動すると Win7 Aero Glass が無効となり、ビデオのパフォーマンスを最大限にします。ClickShare アプリケーションを終了すると、お使いの Aero Glass 設定が復元されます。

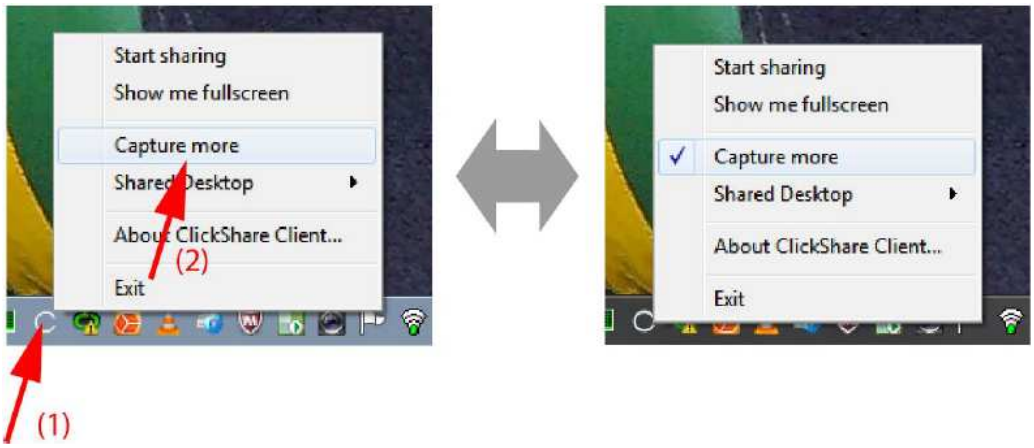
透明のアルファ層はデフォルト設定により取り込まれません。したがって、ウィンドウによっては表示されないか、または異なって表示されます。例えば、オーバーレイを使用するビデオプレーヤのコンテンツは表示されません。

［Capture More（詳細取り込み）］を選択すると、Win7 Aero Glass 設定が復元され、アルファ層の取り込みが有効になります。このモードでは、ビデオの処理能力が多少落ちるものの、より詳細に取り込まれます。

デフォルト設定：チェックなし。

変更方法

1. システムトレイの ClickShare アイコン（1）を右クリックします。



画像 3-7
キャプチャモードの変更

コンテキストメニューが表示されます。

2. ［Capture mode（キャプチャモード）］をクリックして切り替えてください。

チェックあり：より詳細に取り込めますが、処理能力が低下します。

チェックなし：より速く取り込めますが、多少粗くなる場合があります。

3.5 デスクトップの共有：プライマリ、拡張

Windows7 と Windows8 のみ対応

デスクトップの共有について

選択によって、画面がプライマリまたは拡張で取り込まれ ClickShare 経由で表示されます。拡張画面は、実物の画面または仮想上の画面になります。

拡張デスクトップの場合、ノートパソコンの画面と会議室の主要ディスプレイの両方のメリットを利用することができます。プレゼンテーション資料などプライマリ画面に表示されている資料は、他の人には見えません。

PC と仮想上の拡張画面：

画像 3-8

PC にプライマリ画面が表示され、会議室のディスプレイに拡張画面が表示されます。

画像 3-9

PC に 1 つの拡張画面を接続した場合。この拡張画面が取り込まれて、会議室のディスプレイに表示されます。

画像 3-10

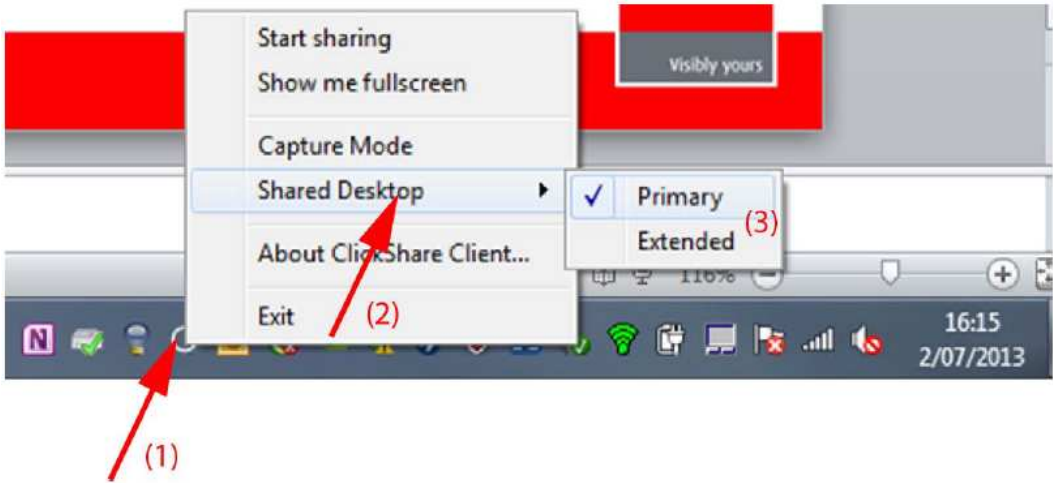
PC に 2 つの拡張画面を接続する場合。1 つ目の拡張画面 2 が常に取り込まれて、会議室のディスプレイに表示されます。

システムが拡張デスクトップ機能をサポートしているか確認するには、Window キーと P を押すと画面に下図のポップアップが表示されます。

画像 3-11

選択方法

1. システムトレイの ClickShare アイコン（1）を右クリックします。



画像 3-12
デスクトップの共有の選択

コンテキストメニューが表示されます。

2. ［*Shared Desktop*（デスクトップの共有）］（2）を選択します。
3. 任意の設定（3）を選択します。

［Primary（プライマリ）］：プライマリ PC の画面が会議室のディスプレイに表示されます。

拡張は常に 2 番目の画面として会議室のディスプレイに表示されます。

現在までに報告されている問題

- 仮想上の拡張デスクトップは AMD グラフィックドライバの最新のバージョンに問題があるため、一部の Windows7 や Windows8 のシステムでサポートされていません。ドライバを旧バージョンに戻すとこの問題が解消する場合があります。この場合でも AMD ドライバはバージョン 13.8 以降にアップデートしてください。

3.6 オーディオの構成

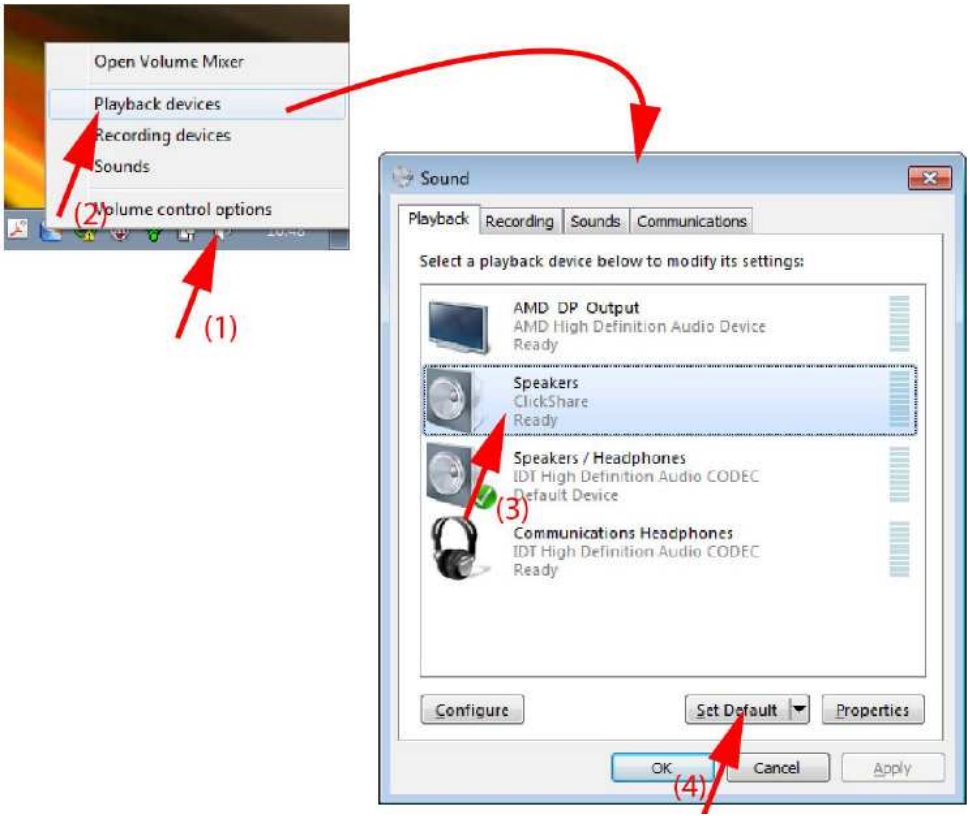
オーディオの構成

接続されているユーザーは、パソコンのオーディオ構成を使用して各自のオーディオ信号を制御する必要があります。オーディオ信号を送信したくない場合、パソコン側でオーディオの消音機能をオンにする必要があります。

一部の OS については、ClickShare をデフォルト出力機器として設定する必要があります。ボタンを抜き取った後は、デフォルト設定は以前の設定値に戻ります。

ClickShare を Windows7 でデフォルト設定する

1. システムトレイのスピーカアイコン（1）を右クリックします。

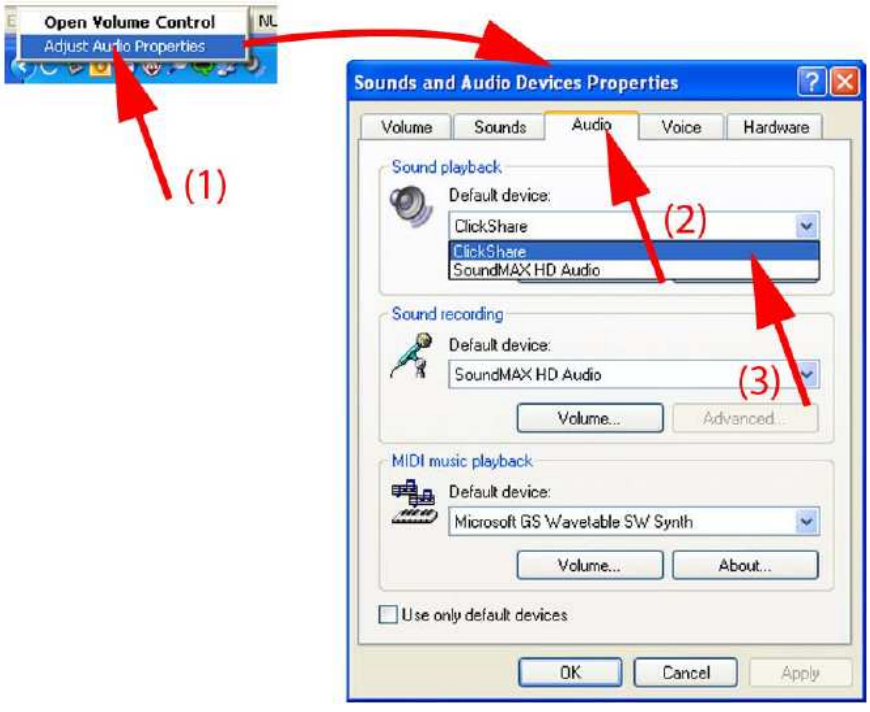


画像 3-13
ClickShare 用スピーカのデフォルト設定

2. ［*Playback devices*（再生デバイス）］（2）をクリックします。
   ［*Sound*（サウンド）］ウィンドウで［*Playback*（再生）］タブが表示されます。
3. ［Speakers ClickShare（ClickShare 用スピーカ）］（3）を選択し、［Set default（既定値に設定）］（4）をクリックします。
4. ［**Apply**（適用）］または［**OK**］をクリックし、設定した内容を有効にします。

Windows XP で ClickShare をデフォルト設定する

1. システムトレイのスピーカアイコンを右クリックします。

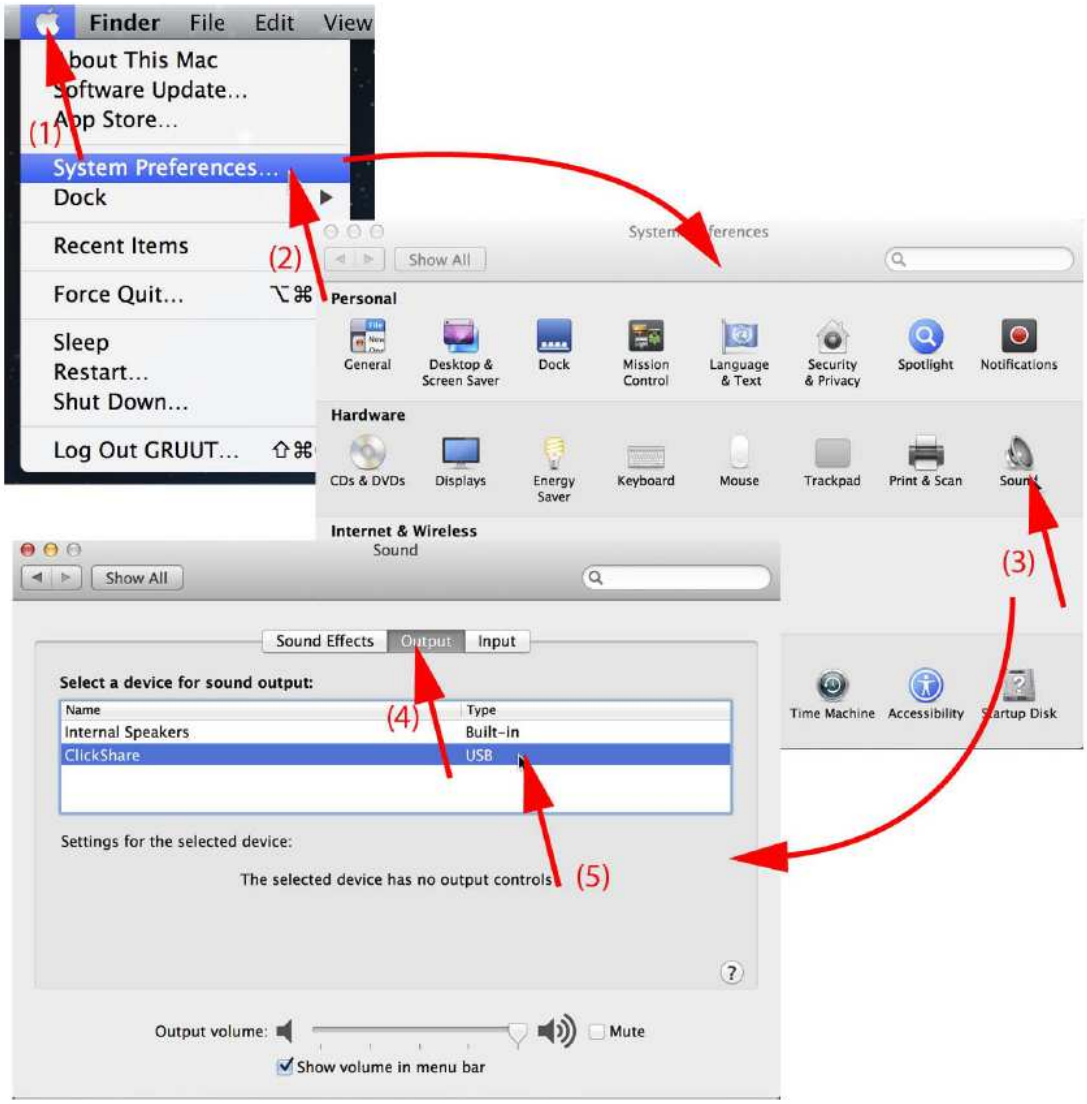


画像 3-14
ClickShare 用スピーカのデフォルト設定

2. ［*Adjust Audio Properties*（オーディオ特性の調整）］（1）をクリックします。
   ［*Sound and Audio Devices Properties*（サウンド、オーディオデバイスの特性）］ウィンドウが表示されます。
3. ［**Audio**（オーディオ）］タブ（2）を選択します。
4. ［*Sound playback*（サウンド再生）］パネル内のドロップダウンボックスをクリックし、［ClickShare］（3）を選択します。
5. ［**Apply**（適用）］または［**OK**］をクリックし、設定した内容を有効にします。

Mac で ClickShare をデフォルト設定する

1. メニューバーの Apple ロゴ（1）をクリックし、［*System Preferences*...（システム環境設定）］を選択します。..(2).



画像 3-15
ClickShare 用スピーカのデフォルト設定

2. *スピーカ*アイコン（3）をクリックします。
   ［*Sound*（サウンド）］ウィンドウが表示されます。
3. ［*Output*（出力）］タブ（4）を選択し、［ClickShare］（5）を有効にします。

3.7 ペアリング

ボタンとベースユニットとのペアリング

ボタンを使えるようにするには、現在使用しているベースユニットに割り当てる必要があります。このプロセスをペアリングといいます。ClickShare セットに付属されている 2 台のボタンと対象ベースユニットとのペアリングは出荷時に完了しています。

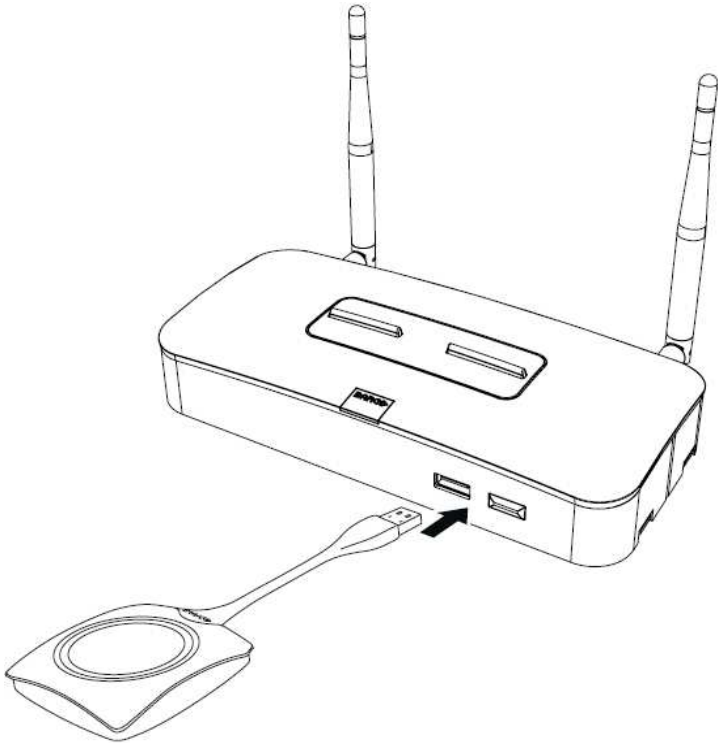
追加でボタンをご購入いただいた場合やボタンを他のベースユニットに割り当てる場合は、そのボタンのペアリングを別途行う必要があります。ベースユニットのソフトウェアをアップデートする際には、ボタンをベースユニットとペアリングさせてボタンのソフトウェアもアップデートすることをお勧めします。

各ボタンは 1 度に 1 台のベースユニットにしかペアリングできません。

ボタンは最後にペアリングを行ったベースユニットに常に接続します。

ベースユニットとボタンのペアリングを行う

1. ベースユニットの正面の USB ポートにボタンを差し込みます。



画像 3-16
ペアボタン

ボタンの LED とベースユニットの LED は白色で点滅します。これはペアリング中であることを意味します。

ベースユニットは自動的にボタンのソフトウェアが最新か確認します。最新でない場合は、ベースユニットがボタンのソフトウェアのアップデートを行います。この作業には時間がかかる場合があります。

ペアリングおよびアップデートプロセス中は、小型のステータスバーが表示されます。

画像 3-17
ペアリング中に表示されるメッセージ

ペアリングプロセスの結果は下記のように確認することができます：

- ボタンはベースユニットとペアリングが完了していますが、ソフトウェアのアップデートは不要だった場合、LED が白色で点灯します。ベースユニットからボタンを取り外すことができます。
- ボタンはベースユニットとペアリングが完了し、ソフトウェアのアップデートも完了した場合、LED は赤色で点灯します。ベースユニットからボタンを取り外すことができます。

画像 3-18
ペアリング完了

2. ベースユニットからボタンを取り外します。

これでボタンをご使用いただけます。

4. 困ったときは

4.1 基本的な対処法

問題解決策

本章では、ClickShare のご使用中に発生する可能性のある問題をいくつかご紹介いたします。各問題の原因と対処方法をご提案いたします。ご自身で問題を解決できない場合は、各自の IT 管理部門にお問い合わせください。

問題	原因	解決策
ボタンを押してもディスプレイに画面が表示されない。	あなたはディスプレイに表示するコンテンツを共有しようとしている2番目のユーザーです。	最初のユーザーは、自分のボタンを押してコンテンツを削除し、2 番目のユーザーがコンテンツを共有できるようにするか、2番目のユーザーとしてボタンをクリックして長押しし、ClickShare の［Show me（表示する)］機能を使用します。
	ClickShare クライアントソフトウェアが動作していません。	ClickShare ドライブからソフトウェアを起動してください。
画面は表示されていても、会議室内のオーディオシステムでオーディオが再生されない。	PC 側のオーディオ信号が消音になっています。	スピーカアイコンを右クリックし、消音機能をオフにしてください。
	会議室側のオーディオシステムがオンに切り替わっていません。	会議室側のオーディオシステムをオンに切り替えます。
	個別のオーディオを使用する際に、オーディオケーブルが接続されていません。	ベースユニット（オーディオのアウト側、緑色のコネクタ）と会議室のオーディオシステムとのオーディオ系統の接続状態を確認します。
	デフォルトスピーカは現在設定されていません。	ボタンを差し込んだ状態で、ClickShare スピーカをデフォルトスピーカとして設定します。
	ウェブインタフェースでオーディオ設定を変更した後にボタンをペアリングし直していません。	ボタンをペアリングし直します。
コンテンツがディスプレイから消え、ボタンの LED が白色で点滅する。	ディスプレイの接続が途絶えています。	ClickShare が自動的に再接続を試みます。それでも接続できなかった場合、ボタンの LEDが赤色で点滅し始めます。ボタンをノートパソコンから取り外し、最初からやり直します。
ディスプレイに何も表示されない。	ディスプレイがオフのままです。	ディスプレイをオンにします。
	入力が正しく選択されていません。	入力を正しく選択します。
	ディスプレイのケーブルが接続されていません（正しく接続されていません)。	ディスプレイとベースユニットにディスプレイケーブルを差し込み直します。
	ディスプレイがベースユニットの出力の解像度を認識していない、もしくは表示できません。	ご自身または管理者がウェブ上のインタフェースから該当する設定を変更します。
	ベースユニットがスタンバイモードのままです。	ベースユニットのスタンバイボタンを早押しするか、ボタンを差し込んで ClickShare クライアントソフトウェアを起動します。
	ベースユニットの電源がオフのままです。	電源アダプタがベースユニットと壁のコンセントに接続されていることを確認してください。
	ボタンのソフトウェアがベースユニットのソフトウェアと一致していません。	ベースユニットの正面の USB ポートにボタンを差し込んで、ペアリングし直し、ボタンのソフトウェアをアップデートします。

問題	原因	解決策
ノートパソコンにボタンを差し込んでも、ClickShare ドライブが見つからない。	ドライブが自動更新されていません。	ノートパソコンの表示を更新します。
	ノートパソコンの USB ポートに正しく接続されていません。	• USB ポートに接続し直します。 • 別の USB ポートに接続します。 • ノートパソコンを再起動します。
	ウィンドウズが使用中のドライブ名に ClickShare ドライブを割り当てようとする。	Microsoft Windows のディスクの管理を使用して空いているドライブ名に割り当てます。
ディスプレイに表示されない Windows プログラムがある。	GPU のハードウェアアクセレレータ、3D、オーバーレイが有効です。	• GPU のハードウェアアクセレレータやオーバーレイを無効にします。 • Windows 7 の AeroGlass を無効にします。 • キャプチャモード

5. 環境情報

5.1 廃棄処分情報

廃棄処分情報

電気・電子機器の廃棄処分

製品に表示されているこの記号は、電気・電子機器の廃棄処分に関する欧州指令 2012／19／EU により本製品が他の一般廃棄物と一緒に廃棄処分することが禁じられていることを示します。ご不要になった電気・電子機器の指定リサイクル回収場に持ち込んで機器を処分してください。廃棄物処理の未規制による環境や健康への被害を防止するため、他の廃棄物と分別し、リサイクルの徹底を図り、持続可能な資源の再利用を促進してください。

本製品のリサイクルに関するお問い合わせは、管轄の市役所または地方自治体の廃棄物処理課にお問い合わせください。

詳細については、Barco ウェブサイト（http://www.barco.com/en/AboutBarco/weee）でご案内しております。

製品のバッテリの処分

本製品には指令 2006／66／EC の対象となるバッテリが搭載されていますので、地方自治体の廃棄物処分とは分別して回収・処分してください。

バッテリに含まれる鉛（Pb）、水銀（Hg）、カドミウム（Cd）が規定量を上回る場合、バツ印のキャスタ付きゴミ箱の記号の下に該当する化学記号が表記されます。

バッテリの分別収集に参加することで、適切な廃棄処分法の徹底を図り、環境や健康への悪影響を防止する上での一助となります。

5.2 RoHS への準拠

トルコ RoHS への準拠

Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur.

［トルコ共和国：WEEE 規制への準拠］

中国大陆 RoHS – 中国大陸 RoHS

根据中国大陆《电子信息产品污染控制管理办法》(也称为中国大陆 RoHS)，以下部分列出了 Barco 产品中可能包含的有毒和/或有害物质的名称和含量。中国大陆 RoHS 指令包含在中国信息产业部 MCV 标准：“电子信息产品中有毒物质的限量要求”中。

「中国電子情報製品生産汚染防止管理弁法」（中国大陸 RoHS ともいう）に従い、弊社製品に含まれる可能性のある有害物質や危険物質の物質名と含有量を下表にまとめました。中国大陸 RoHS は、中国情報産業省の MCV 基準の「電子情報製品の有害物質規制要件」に盛り込まれています。

零件项目（名称 ） 部品名	有毒有害物质或元素 危険有害物質・要素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印制电路配件 基板アッセンブリ	x	0	x	0	0	0
电（线）缆 ケーブル	x	0	x	0	0	0

底架 シャーシ	x	0	x	0	0	0
电源供应器 電源ユニット	x	0	x	0	0	0
文件说明书 説明書	0	0	0	0	0	0

O：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求以下.

O：この部品のすべての均質材料に含まれている当該有害物質／危険物質が SJ/T11363-2006 の制限要件未満であることを示します。

X：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求.

X：この部品の少なくとも 1 種類以上の均質材料に含まれている当該有害物質／危険物質が SJ/T11363-2006 の制限要件を超えていることを示します。

在中国大陆销售的相应电子信息产品(EIP)都必须遵照中国大陆《电子信息产品污染控制标识要求》标准贴上环保使用期限(EFUP) 标签。Barco 产品所采用的 EFUP 标签 (请参阅实例，徽标内部的编号使用于制定产品) 基于中国大陆的《电子信息产品环保使用期限通则》标准。

中国大陸で販売されたすべての電子情報製品（EIP）は、電子情報製品汚染防止ラベル表示基準」に適合し、環境保護使用期限（EFUP）ロゴを表示する義務があります。当社が使用する EFUP ロゴに記載されている数字（写真を参照）は、中国の「電子情報製品の環境保護使用期限基準」に基づいています。

画像 5-1

5.3 生産地

工場

Barco N.V.

12F, Citychamp Building, No. 12, Tai Yang Gong Zhong Lu, Chaoyang District, Beijing, P.R.C